



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2024年3月23日発行 第40号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



祝・ご卒業！

～子どもたちの1年間の



成長の喜びを共有する～

校長 三原 洋一

先週は、35名の園児が立派に卒園式を終えることができました。そして、いよいよ令和5年度も最後の授業日を迎えました、今日は、小学部・中学部・高等部の卒業式を挙行いたします。

幼稚部卒園式 3/16



世界で最も古い補習校であり、伝統のあるこのワシントン日本語学校を卒業する小学部47名、中学部30名、高等部36名 計113名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

特に、高等部卒業の皆さんは、全員、今日をもって本校を旅立ちます。

卒業生の皆さんは、各学部の最高学年として、学校生活のいろいろな場面でリーダーとなり、「学校の顔」として活躍してくれました。



ワシントン日本語学校の代表としてふさわしい態度で、立派な成果を上げてきました。後に続く在校生に大きな励みと力を与えてくれたと思います。

本年度、全教職員が団結して、「良さを見つけ、褒めて伸ばす」をスローガンとして、指導を行ってきました。各クラスにおいて、節目、節目に具体的な目標をもたせ、子どもたちの達成に向け頑張ろうとする気持ちを大切にしながら支援してきました。自己肯定感を高め、自分の成長を具体的に考えることは、自信につながるだけでなく、次年度へのやる気に結びついています。

そして、ご家庭でも子どもたちの成長を確かめ、褒めるとともに、「できるようになったことは何で、できなかったことは何なのか。」また、「どうしてできるようになったのか、どうしてできなかったのか。」そして、「できなかったことをできるようにするためには、これから何をどう頑張ればよいのか。」などを話題にしていいただき、子どもた

ち自身が、次は「こんなことを頑張ろう。」
という具体的な目標や将来の夢がもてるよう
に励ましていただきたいと思います。



子どもたち一人一人が、次の学年に上がっ
ても各自の目標の達成に向け、精一杯頑張っ
てくれることを期待しています。

この1年間、保護者の皆様のご理解と温か
いご支援のもと、子どもたちは伸び伸びとそ
して安全に学校生活を送ることができまし
た。また教職員も保護者や関係の皆様のおか
げで、子どもたちのために精一杯教育活動に
取り組むことができたと感じております。子
どもたちの成長をともに支え、ともに喜んで
くださるすべての方々に心から感謝申し上げ
ます。

また、この1年間の保護者の皆様、運営委
員の皆様、支援団体の皆様の学校に対する温
かく、力強いご支援、ご協力に感謝申し上げ
ます。ありがとうございました。

在校生代表の送辞 を紹介します。

卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。高
校1年、生徒会書記の高松りあです。

去年この会場で中学の卒業式を迎えたことを、まだ鮮明
に覚えています。あれから一年が経ち、また卒業の季節に
なったことを思うと、切ないような、少し嬉しいような、複雑な
気持ちになります。あっという間に過ぎた一年ですが、青空
ピクニックや運動会、多くの行事がコロナ前の形に戻ってき
ました。皆さんもきっと、かけがえのない思い出を胸いっぱい

に抱えながら、今日の卒業式を迎えていることでしょう。

小学6年生の皆さんは、小学校の最高学年として、まだ
幼い1年生からだいぶ成長した5年生までのリーダーとして
活躍してくれました。また、生徒会会議では積極的に発
言をし、本の読み聞かせや美化月間でも貢献してくれまし
た。

中学3年生の皆さんは、一年前からの変化にとっても驚き
ました。青空ピクニックや運動会で見せてくれた団結力は
明らかに一つ上のレベルになっており、来年から高校生とし
て学校全体を引っ張っていく、頼れる存在に感じられまし
た。

中学部、高等部に進学する皆さんは、今後も日本語の
勉強に取り組み、毎週土曜日の日本語学校を思いっきり
楽しんでください。ともに、素敵な思い出を作っていきましょ
う。

そして高校2年生の皆さん。皆さんとの一番印象深い思
い出は、なんと言っても応援団です。正直、私は初日の練
習後に「苦手なダンスを人前で踊るのは嫌だな」と思いまし
た。それでも毎週放課後に先輩方と練習を続ける中で、も
うやるしかないという覚悟を決め、本番を迎えました。そんな私で
したが、当日は、応援団が強い団結心で結ばれていること
に気づきました。一つの目標へと先導してくださった先輩方
からは苦手なことでも投げ出さず、みんなで乗り越えることの
大切さを学びました。

私は現地校で11年生になりましたが、大学受験の準備
が少しずつ始まる中で、日本語学校と現地校との両立の
大変さを強く感じ始めています。いつも、笑顔で接してくださ
った先輩方は、この大変さやストレス、課題の山を乗り越え
ながら卒業まで迎えられたんだと心から尊敬をしています。

来年度からは私達がワシントン日本語学校を引っ張って
いく立場です。日本語学校の伝統や先輩方の諦めない
心を引き継いで、ますます魅力的な学校になるよう努力し
たいと思います。

高校2年生の皆さん、私たちの変わらぬ憧れの存在とし
て、卒業後も新しい場所で、輝き続けてください。

以上をもちまして、私からの送辞とさせていただきます。



令和6年3月23日 在校生代表
高等部1年 高松りあ